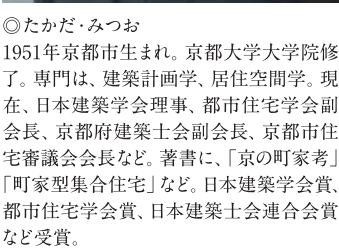


京都・滋賀、日本、世界の進むべき指針を問います



ンターなどが行っている「京町家まちなづくり調査」の結果によれば、都心部の「京町家」は毎年約2%ずつ減失し、レッド・リストに載っている絶滅危惧種のようになる恐れがある。新しい「京町家」をつくらなければ、生活の場としての「京町家」の健全な保全も考えにくくなっている。

一方、京都市では、2007年より「新景観政策」が強力に推進されている。とはいえ、都心景観の拠り所とされる伝統構法の「京町家」は、これまで建築基準法上、既存不適格建築物として扱われ、同じ構法で建替えることも難しかった。しかし、近年の建築基準法施行令改正により新たな構造計算法が認められ、伝統構法に基づく新しい「京町家」に期待が集まっている。

さらに「環境政策の視点から、既存の「京町家」の保全・再生とともに、新しい「京町家」が求められている。国の「環境モデル都市」に選定された京都市では、温室効果ガスの削減目標を達成するため「木の文化を大切にするまち、京都」戦略というプロジェクトを立ち上げることになった。「平成の京町家」とよばれる新しい「京町家」の開発、推進はその重要な柱であり、景観政策の次の展開としての意義も付与されている。

では、めざすべき新しい「京町家」とはいったいどのような家なのか。一言で言えば、「京町家」とそこで受け継がれてきた生活文化に現代の価値を見出し、それらを継承・発展させていく家である。具体的には、次のような要件が求められるのではなからうか。

第一は「住みごたえのある家」である。住まい手が一方的に住まいから得る居住価値を「住みごこち」と呼ぶとすると、住まい手と住まいが互いに働きかけて得る居住価値を「住みごたえ」を呼ぶことが出来るだろう。「京町家」は、住まい手が住まいにかかわって継承されてきた家である。新しい「京町家」は、「住みごたえ」を育む家をめざしたい。

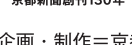
第二は、「住み継がれる家」である。造つては壊し、壊しては造るスクラップ・アンド・ビルドの習慣から脱し、「住み継ぐ」という住み方を支援する家づくりを大切にしたい。新陳代謝を繰返しながらも頼れる構造を保ち、次世代が手を加えながら住みこなし、家が求められる。

第三は、「まちをつくる家」である。「京町家」は、「いえ」と「まち」の関係性の秩序を多面的に構築することによって、高密度居住と変化への対応を実現してきた。新しい「京町家」には、既存の「京町家」との共存とともに、他の家と連担して生活の場としての「まち」を再構築する家としての役割を期待したい。

政策」が強力に推進
る伝統構法の「京町
新しい
「京町家」を
つくる意味

高田光雄
京都大学大学院教授

京都大学大学院教授



企画・制作＝京都新聞COM計画部

シリーズ **3**
低炭素社会での
100年住宅の暮らし

ゼロの100年住宅

すべて

長期優良住宅。

※長期優良住宅の認定基準のうち、住戸床面積の条件のみ満たさない場合がございます。

すべて

住宅履歴書付き。

ゼロでは、定期点検やメンテナンスの記録をすべて保存し、お客様とともに住宅管理を行っていくシステムを構築しています。

※国土交通省より2000年に施行された住宅性能の評価基準による。「劣化軽減対策」は建物の劣化(木材の腐朽)などのしにくさ、「維持管理」は給排水管等の配管設備の点検・清掃・補修のしやすさの基準

※ゼロの「構造50年保証」は、当社による10年目以降5年ごとの定期点検（有料）を受けていただくことが条件となります。

▼ 住宅履歴書の例
※当社を介さない譲渡の場合は、
有料となります。

姓名	性别	出生日期	身份证号	学历	毕业学校	专业	毕业时间	毕业成绩	备注
王小明	男	1990-01-01	110101199001010001	本科	清华大学	计算机科学与技术	2013-06	85	优秀
李小红	女	1992-03-05	110101199203050002	本科	北京大学	法学	2014-06	78	良好
张小明	男	1995-07-15	110101199507150003	本科	上海交通大学	电子信息工程	2017-06	82	良好
赵小红	女	1998-02-28	110101199802280004	本科	复旦大学	金融学	2019-06	75	良好
孙小明	男	2000-05-10	110101200005100005	本科	浙江大学	软件工程	2021-06	80	良好
周小红	女	2002-09-20	110101200209200006	本科	武汉大学	会计学	2023-06	72	良好

[illegible]

012

京都ものがたり

検索

100年ものがたり

[廣告主]

(株)ゼロ・コーポレーション

■掲載内容についてのご意見やお問い合わせは、当社企画室まで。TEL.075-492-8807(企画室)

<http://www.zero-corp.co.jp/>